

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English A		
英文授業科目名	English A		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	電子工学科 システム工学科		
担当教官名	西村 芳康		
居室	東1-714		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nishimur@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
平易な現代英語による、しかも受講者の知的興味を喚起するようなテキストを用いて、読解力向上のための訓練を行ない基礎的学力の養成を図る。この授業では速読力をつける練習もする。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
(金曜3限) 教科書：P. Stapleton著 「知の進化論」(New Perspectives)、金星堂

【授業内容とその進め方】
具体的な目的は、読解力の向上を図るために「文章構造の認識」と「文脈の理解」ができるようにすることである。授業では高校までに習った基礎的知識をテキストの英文に応用して、段落ごとの内容をつかんでいく。テキストは15課構成で、各課を2回分の授業で扱う。各授業では内容把握を主眼にして、約2ページの英文を読んでいく予定。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法

- (1) 期末試験(受験には授業回数の3分の2の出席が必要条件)
- (2) 出席状況(妥当な理由のない欠席・遅刻は減点評価する)
- (3) 授業中の態度や、発表の仕方

さらに、臨時に小テストをする場合がある

評価基準

以下の2つの基準に基づく。

(大学作成)

100-90点は秀、89-80点は優、79-70点は良、69-60点は可、60点未満は不可。

平成16年度以降は「評価平均」が導入されて、不可や履修放棄は0点として算入されるので注意すること。

(英語教室作成)

合格者の20(+/-10)%は秀と優、合格者の40(+/-10)%は良、合格者の40(+/-)%は可、それ以外は不可。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話やメールなどで事前に予約を取ること。

【学生へのメッセージ】

- 1. 英語に触れる時間を生活の一部に組み入れることが重要です。
- 2. 実用的な音声面の英語学習には、NHKラジオ・テレビの語学番組がお勧めです。

【その他】